

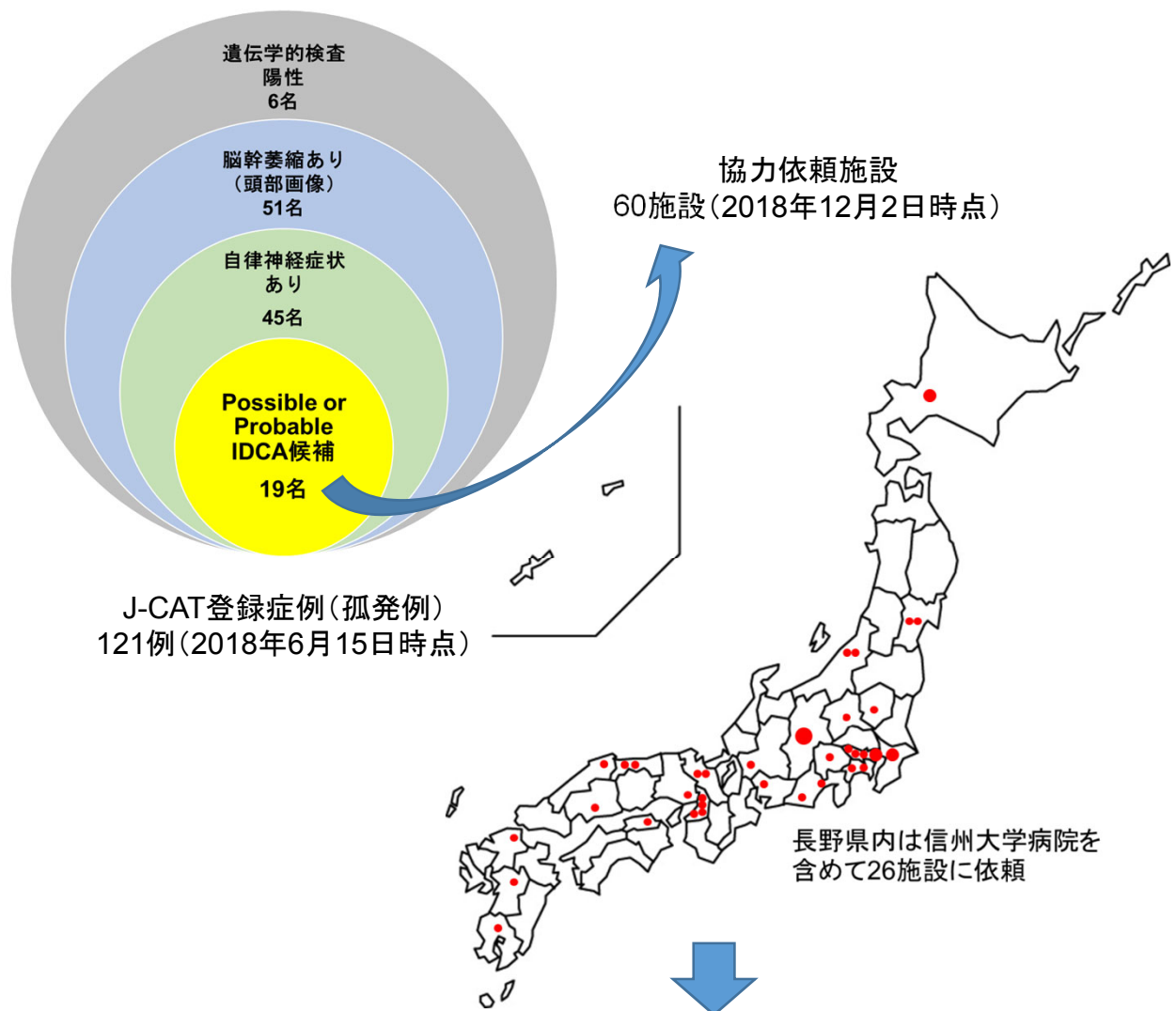
特発性小脳失調症 (IDCA) の全国実態調査

【目的】 臨床診断基準に基づいた特発性小脳失調症 (idiopathic cerebellar ataxia, IDCA) の全国的な実態調査

【方法】

- J-CATに登録された孤発性小脳失調症患者121名の追跡調査, および運動失調班 (医療基盤班) の班員, personal communication (吉田邦広) により全国に調査依頼を行い, 情報を集積した.
- 情報提供には所定の調査シートを用いた.

【成果】 2018年12月時点で, 全国から40例の情報提供があった. うち主要項目を満たさない4例, 除外項目に抵触する可能性のある3例を除外 → 33例 (probable 30例, possible 3例) を集積.



33例 (probable 30例, possible 3例) の臨床的解析
(possible 3例はいずれも現時点で罹病期間5年以内のため, probable基準を満たさず)

研究分担者: 吉田邦広, 中村勝哉, 松嶋 聡, 関島良樹, 桑原 聡, 高橋祐二, 佐々木秀直, 水澤英洋